



スハミラタイムについて

「スハミラ（スーパーハッピーミラクルラッキー）タイム」は、異年齢で構成された班の活動のことで、主に交流活動を行うことで親交を深めるものです。この縦割り班での活動については、以前にもお伝えしました。日々の清掃活動も、縦割り班で行うことが中心になっています。今回の縦割り班とは異なりますが、広い意味では、通学班や委員会、クラブ活動も異年齢の活動と言えます。

スハミラタイムや清掃活動における縦割り班活動では、1年生から6年生までが集うことで、上級生は下学年に対して優しく接したり、下級生は上級生の姿を見て学んだりする効果が期待できます。クラスの中でできにくいことも、少人数の縦割り班の中ならできるとということもあります。

2月終盤から3月初旬にかけてのスハミラタイムは、広い場所で活動することを目的にしたイベントを行いました。これまでは教室でのレクリエーションを行いましたが、今回は運動場や体育館で活動しました。6年生が活動内容を考えましたが、感心したのは、工夫をしていた点です。低学年でも無理なく楽しむことができるように、ボールを転がす中当てをしたり、鬼がお面をかぶって臨場感を出したりしました。きっとこれまでの卒業生がしていたことを思い出しながらアレンジしていたのだと思います。こういったことが積み重なっていくと「伝統」が築かれると考えています。

3月5日（火）のスハミラタイムは、お別れ会。最終のスハミラタイムだったので、進行役は4、5年生にバトンタッチされました。6年生に頼ることなく一生懸命頑張っていたことに成長を感じました。また、下学年の感謝の気持ちがこもった色紙をもらって、笑顔になっていた6年生も大変印象的でした。

3学期のスハミラタイムは、子どもたちにとって正に「幸せな時間」になったと思います。そして、これが、「夢に向かって走り出せ 6年生ありがとう♡集会（6年生を送る会）」や6年生が企画している「潮見っ子まつり」へとつながっていくこととなります。潮見っ子の「明るく・やさしい」面が育っています。

